TEAM MINOSHO ★ ONE TEAM

みのしま

令和６年３月１３日
有田市立箕島小学校
第１０９号

卒業式まであと２日。６年生の皆さんが箕島小学校で過ごす時間も残りわずかになりました。１分１秒を大切にし、みんな揃って、気持ちよく巣立ってくださいね。
卒業式を万全の体調で迎えられるように、健康管理に十分に気をつけましょう。けがをしないように、事故にああわないように、学校でもお家でも安全に過ごしてくださいね。
卒業式では、担任が名前を呼びます。箕島小学校に在籍した証として、小学校最後の呼名に、元気よく「はい」と返事をしてください。そして、小学校最後の歌声を体育館に響かせてください。

箕島小学校の児童会活動で行った能登半島地震災害義援金を旧児童会役員が有田市役所へ届けました。被災地の人びとの生活を支援するために使ってくださいます。協力いただいた児童、保護者、地域の皆様、ありがとうございました。

１日も早くの復興を願って

第11回 育てよう！福祉の芽　小・中学生作文コンクール

応募総数５１７作品の中から、選考委員会により各受賞作品が決定しました。

優秀賞　小学校中学年の部

箕島小学校　四年
小野（おの）　知聖（ちさと）さん

「きれいになった有田川」

夏休み家族と一緒に有田川のそうじに行った。去年も行ったが、今年の方が暑かった。今から二時間もこんなに暑い中、ゴミ拾いができるか不安になった。

ゴミ拾いをはじめて最初に目についたのはペットボトルだった。私たちがゴミ拾いをしているところは、なかなか人が入らない場所だったから、どこからか流れついたのかと思った。ペットボトルはとけないから、海に流れてしまうと生き物に当たったり、食べてしまわないか心配になった。だから、身近なところからみんなで協力してゴミ拾いをしようと思った。

日がのぼってきてだんだん暑くなってきたところでみんなで休けいすることになった。

そこでは熱中しょうたいさくのために、塩分の多い梅干しをみんなで食べた。一生けん命集中してゴミ拾いをしたから、いつもよりも梅干しがおいしく感じた。

休けいが終わって、ゴミ拾いを始めると、みんながあるところに集まっていた。そこには手のひらサイズの小さい赤ちゃんのエイがいた。しおがひいて池みたいになっていてそこから出られなくなっていた。少しの間、みんなで様子を見てから、川にかえしてあげた。他にも、カニがいっぱいいた。みんなでトングでたくさんつかまえた。この前家族で行った海にたくさんいたカニとよくにていた。海に近いからにたようなカニがいたのかな。

なんで流れついたのかなとふしぎに思うゴミもたくさんあった。例えば、かさやくつ、レインコート、はっぽうスチロールなどがあった。もえるゴミは、ほとんどなかった。ながれているときにとけたり、自然にかえったりしたと思う。

私は、今までゴミ拾いはとても大変でしんどいものと思っていたけれど、ゴミ拾いをしてみて暑くて大変だけど、家族や友達と一しょにして楽しかった。また最後に見てみると最初とくらべたら、きれいになったのでとてもすっきりした。

これからも身近なところからきれいにしていきたいと思った。

「ありだし社協だより」に掲載されました